

調査の概要

【目的】

中学校学習指導要領の次期改訂に資するため、今次改訂の改善事項を中心に、各教科等の目標や内容に照らした生徒の学習の実現状況について調査研究を行い、検討の基礎となる客観的データ等を得るとともに、教育課程の基準に係る課題の有無及びその内容等を検証・総括する。

【時期、対象学年及び教科等】

○調査時期：調査①令和5年11月1日（水）から令和5年12月22日（金）

（音楽、美術、技術・家庭、保健体育、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動）

調査②令和6年1月22日（月）から令和6年3月19日（火）

（国語、社会、数学、理科、外国語（英語）、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動）

○調査対象：国公立及び私立中学校 1,356校（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程含む） ※全学校の約13.2%、無作為抽出
実施生徒数（延べ） 159,150人

○内容：各教科で、①今回の改訂の基本方針に関する事項、②各教科等の主な改善事項（今回の改訂で新設された事項、学年及び学校種を超えて移行した事項）、③従来、課題とされている事項の視点に基づくペーパーテスト調査を実施するとともに、一部教科で実技調査を実施。あわせて、生徒、教師、学校長を対象とした質問調査をオンライン形式にて実施。

・ペーパーテスト調査：第1～3学年 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、技術・家庭、保健体育（体育分野、保健分野）、
外国語（英語）

・質問調査（学校）（生徒、教師）：第1～3学年 特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動

・実技調査：第3学年 美術、技術・家庭（家庭分野）、保健体育（体育分野）、外国語（英語）

（主なポイント）

各教科のペーパーテスト調査の結果から

○必要な情報を資料から読み取ることについては成果が見られるが、読み取った情報を整理してまとめることや、そこから自分の考えを表現すること、情報を基にその原因や理由を説明することについては課題があると考えられる。

○基礎的・基本的な知識の理解は進んでいるが、知識と関連付けて表現することや、分析的・総合的に物事を捉えることについては課題があると考えられる。

特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動の質問調査の結果から

○基本的に多くの設問において生徒の肯定的な回答の割合が高く、これらの教科・活動等に対する生徒の高い意欲がうかがわれる。

令和5年度 中学校学習指導要領実施状況調査について（ペーパーテスト調査等）

ペーパーテスト調査等の概要

- 調査実施校：中学校 1,356 校 実施生徒数 159,150人（延べ数）

※1教科1問当たり、3,600人程度の調査結果を得ることができるよう、調査対象を無作為抽出した。

- データを見るにあたって

○「1. 主な改訂のポイント」「2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題」「3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性」「4. 調査問題例」の4構成と「4」に対応する問題を別紙（問題例）で添付。

○「2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題」中の赤字部分は「相当数の児童ができている」もの、青字部分は「課題があると考えられる」もので、下線が付されているものは、「4. 調査問題例」及び別紙において問題例（質問項目例）が示されている。

※実技調査については、対象教科（美術、技術・家庭（家庭分野）、保健体育（体育分野）、外国語（英語）のペーパーテスト調査を実施する抽出校の中から調査を実施する学校を抽出。（1教科当たり350人程度：10校程度）

令和5年度 中学校学習指導要領実施状況調査の結果について（国語）

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目標に改善・充実。
 - ・〔知識及び技能〕について、学習の基盤となる言語能力を支える語彙、話や文章に含まれる情報の扱い方に関する指導事項を改善・充実。
 - ・活動することだけを目的とするのではなく、活動を通じてどのような資質・能力を育成するのかを示すため、〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域において学習過程を一層明確化し、特に自分の考えを形成する学習過程を重視。

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 話や文章に含まれる情報の扱い方に関して、意見と根拠の関係や具体と抽象の関係について理解すること、情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことについて課題があると考えられる。
- 「読むこと」の領域における「構造と内容の把握」の学習過程に関して、文章の要旨を把握すること、登場人物の心情の変化について、描写を基に捉えることについては相当数の生徒ができています。一方、「考えの形成、共有」の学習過程に関して、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることには課題があると考えられる。
- 「書くこと」の領域における「考えの形成、記述」の学習過程に関して、資料を適切に引用して自分の考えを分かりやすく書くことに課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

指導上の改善点

- 話や文章に含まれている情報の扱い方を理解し使えるようにする指導の充実
 - ・意見を支える根拠の適切さや、具体と抽象の関係に注意して話や文章の論理の展開を捉え、内容を理解したり表現の仕方を評価したりできるようにする指導
 - ・話したり書いたりするために必要な情報を調べる際に、発信元や発信時期を確認したり複数の情報を照らし合わせたりして、情報の信頼性を確かめられるようにする指導 など
- 相手や目的、場面などを明確にして言語活動に取り組めるようにする指導の充実
 - ・目的を意識しながら文章を読み、理解した内容と関連する知識や経験とを適切に結び付け、自分の考えを一層具体的に明確なものにできるようにする指導
 - ・文章を書く目的や意図に応じて、複数の資料から、読み手により分かりやすく伝えられるものや読み手がより納得できるものなど適切な資料を引用できるようにする指導 など

4. 調査問題例（ペーパーテスト 中学校/国語）

「文章の要旨を把握すること」の問題例

（別紙1参照）

- 二つの説明的な文章を読み、それぞれの内容の中心となる事柄の共通点を捉えることができるかを問う問題を出題。【通過率 81.2%】

「登場人物の心情の変化について、描写を基に捉えること」の問題例

（別紙1参照）

- 文学的な文章を読み、登場人物の心情の変化について、描写を基に捉えることができるかを問う問題を出題。【通過率 77.9%】

「意見と根拠の関係について理解すること」の問題例

（別紙2参照）

- 説明的な文章を読み、筆者の考えとその根拠との関係を理解することができるかを問う問題を出題。【通過率 31.4%】

「文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること」の問題例

（別紙3参照）

- 説明的な文章を読んで分かったことと、それに関連する自分が知っている身近な出来事、それらを踏まえて調べたいことを考えることができるかを問う問題を出題。【通過率 32.5%】

「資料を適切に引用して自分の考えを分かりやすく書くこと」の問題例

（別紙4参照）

- 新聞の投書を書く際に、資料を適切に引用して自分の考えを分かりやすく書くことができるかを問う問題を出題。【通過率 38.6%】

「文章の要旨を把握すること」の問題例

【通過率 81.2%】

「登場人物の心情の変化について、描写を基に捉えること」の問題例

【通過率 77.9%】

国語 第1学年・文章の要旨を把握
することができるかを問う問題

この問題を解く上では、二つの説明的な文章で取り上げている内容の中心となる事柄を正確に把握し、その共通点を捉える資質・能力が必要となる。ここでは、透明な生物の生存戦略について述べている【文章A】と、サバンナのイネ科の植物の生存戦略について述べている【文章B】の要旨を正確に把握し、その共通点が「自然界の生物が身を守るための工夫や生き延びるための知恵」であることを捉える必要がある。

- 4 3 2 1
- 自然界の生物が身を守るための工夫や生き延びるための知恵。
- 自然界の生物が生き延びるために身につけている攻撃方法。
- 自然界の生物が生き延びるために身につけている攻撃方法。
- 自然界に生きている動物と植物の共存関係。

(三) 次の中から一つ選びなさい。 6)

(二) 次の中から一つ選びなさい。 6)

＜文章A＞

＜文章B＞

本文省略

本文省略

本文省略

国語 第1学年・登場人物の心情の変化について、描写を基に捉えることができるかを問う問題

この問題を解く上では、文学的な文章の描写に着目しながら登場人物の心情の変化を捉える資質・能力が必要となる。ここでは、前後の描写から登場人物の行動や心情の変化を捉えた上で、傍線部に表現されている心情として適切なものを選ぶことが求められる。それまでは早朝ランニングを「やらされている」と感じていた登場人物の心情が、この後「もっと、走っていた」と感じるまでに変化していくきっかけとなる描写に着目し、傍線部では「体の動かし方を意識的に変えることで、自分の走りが改善されていく手応えを感じている」ことを捉える必要がある。

- 4 3 2 1
- 無理をして走り続けることで、どんどん強まっていく走ることへの辛さを感じている。
- 早朝ランニングを続けることで、速く走る方法がはつきりと分かり達成感を感じている。
- 声を出して自分を励ますことで、今までよりも速く走れるようになった喜びを感じている。
- 体の動かし方を意識的に変えることで、自分の走りが改善されていく手応えを感じている。

(一) 自分と会話しているような、初めての感覚だつたのを、次の1から4の中から一つ選びなさい。 4)

(二) 次の中から一つ選びなさい。

本文省略

【通過率 31.4%】

「意見と根拠の関係について理解すること」の問題例

二 次の「文章 A」と「文章 B」を読み比べて、あとの問題に答えなさい。

「文章 A」

本文省略

「文章 B」

本文省略

(一) 「文章 A」では、しかし、完全に透明になるためには二つの難問を解決しなければならず、と述べられていますが、この「二つの難問」の解決がなぜ難しいのかということについて、次の【説明】のようにまとめました。あとの①と②の問題に答えなさい。 4)

【説明】

目を透明にすることが難しいと考えられる根拠は、(①)である。また、消化管の内容物が見えてしまうことも解決が難しいと考えられるが、その根拠は、(②)である。

① 【説明】の (①) に当てはまる言葉として最も適切なものを、次の 1 から 4 の中から一つ選びなさい。

1 赤い色の車は赤色光のみを反射し、その光を目の網膜が吸収すること

2 網膜が透けていると、目は光を感じることができなくなってしまうこと

3 非常に小さな網膜や非常に淡い色の網膜をもつ生物がいること

4 目ができるだけ体から離れた管の先につけると透明になれること

② 【説明】の (②) に当てはまる言葉として最も適切なものを、次の 1 から 4 の中から一つ選びなさい。

1 体の器官をすべて透明にしても、消化管の内容物が見えてしまうこと

2 いつも透明な餌を食べるとするのは、現実にはそううまくはいかないこと

3 消化管を極力細くしてしまうことで、消化管の内容物を透明にできること

4 最も透明になることに成功した生物は、クラゲだということ

国語 第 1 学年・意見と根拠の関係について理解することができるかを問う問題

この問題を解く上では、説明的な文章で述べられている筆者の考えと、その考えを支える根拠との関係を適切に理解する資質・能力が必要となる。ここでは、生物が完全に透明になるためには二つの難問があるという筆者の考えについて、叙述に着目し、根拠として適切なものを選ぶことが求められる。「目を透明にすることが難しいと考えられる」根拠としては、「網膜が透けていると、目は光を感じることができなくなってしまうこと」が適切であり、「消化管の内容物が見えてしまうことも解決が難しいと考えられる」根拠としては、「いつも透明な餌を食べるとするのは、現実にはそううまくはいかないこと」が適切であることを捉える必要がある。

「文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること」の問題例

【通過率 32.5%】

国語 第2学年・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかを問う問題

この問題を解く上では、二つの文章を読んで理解したことを自分の知識や経験と結び付け、さらにどのようなことを調べたいかを考える資質・能力が必要となる。ここでは、【文章】や【雑誌のインタビュー記事の一部】の内容を正しく理解して分かったことを【メモ】の①に、それと関連する自分の知識や経験を【メモ】の②に、それらを踏まえてどのようなことを調べたいかを具体的に考えて【メモ】の③に書く必要がある。

〈正答例〉

- ① スナック菓子の袋は、中のお菓子のおいしさを保つためにさまざまな種類のプラスチックフィルムを組み合わせて作られていることが分かった。
- ② 最近、プラスチックごみによる海洋汚染が問題になっている。
- ③ スナック菓子のおいしさを保つことと、環境を保全することとを両立させるような食品包装の工夫について調べてみたい。

【文章】

次の【文章】と、その情報を整理した【図と表】、【雑誌のインタビュー記事の一部】を読んで、あとの問題に答えなさい。

【文章】

本文省略

【図と表】

省略

【雑誌のインタビュー記事の一部】

本文省略

(三) 【文章】や【雑誌のインタビュー記事の一部】を読んで分かったことについて、さらに調べるための準備として、次の【メモ】を作成します。【メモ】の①から③に当てはまる内容について、あとの条件1から条件3にしたがって書きなさい。6)

【メモ】

【文章】や【雑誌のインタビュー記事の一部】を読んで分かったこと	①
自分が知っていることや身近な出来事	②
本やインターネットなどで調べたいこと	③

条件1 【メモ】の①には、【文章】や【雑誌のインタビュー記事の一部】を読んで分かったことを一つ書くこと。

条件2 【メモ】の②には、あなたが知っていることや身近な出来事のうち、【メモ】の①に書いたことと関連する内容を一つ書くこと。

条件3 【メモ】の③には、【メモ】の①と②に書いたことを踏まえ、あなたが本やインターネットなどで調べたいことを書くこと。

【通過率 38.6%】

「資料を適切に引用して自分の考えを分かりやすく書くこと」の問題例

国語 第3学年・資料を適切に引用して自分の考えを分かりやすく書くことができるかを問う問題

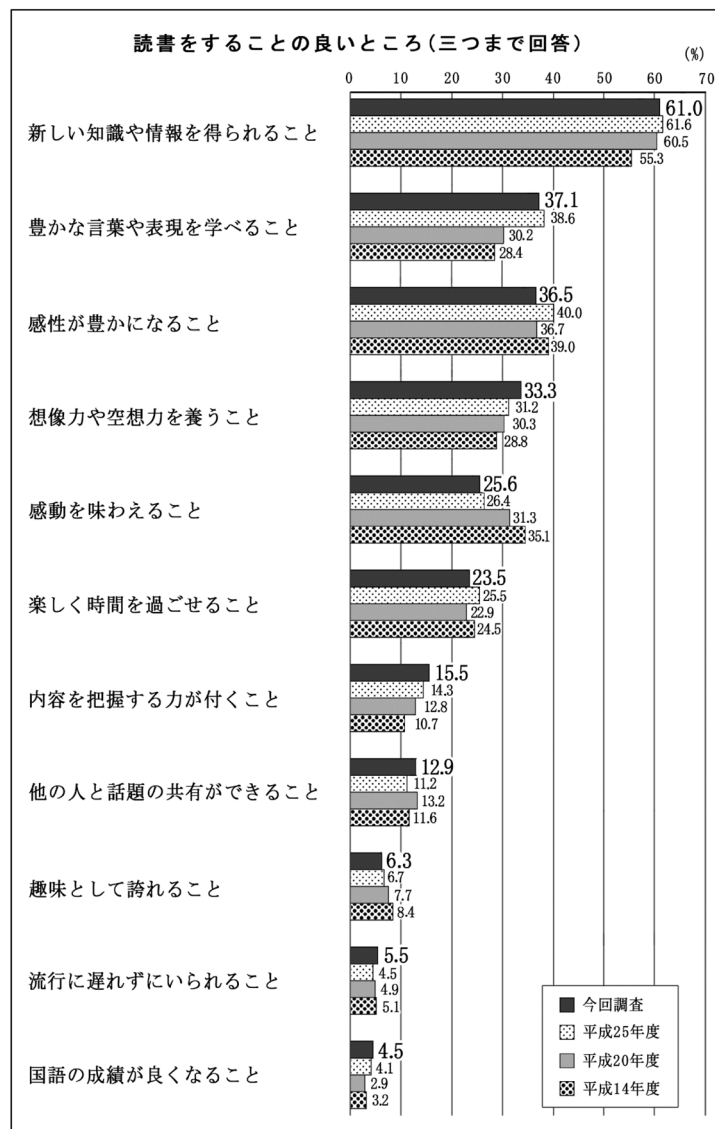
この問題を解く上では、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように資料を適切に引用して自分の考えを書く資質・能力が必要となる。ここでは、【資料】で示されている項目のうち、【新聞の投書の下書き】で伝えようとしている「以前に比べて感動を味わう機会が多様になっているのかもしれない」という考えと関連する項目を①に引用し、①の割合の変化について②で簡潔に説明する必要がある。

〈正答例〉
① 感動を味わえること
② 減少している

条件1 ① は、【資料】の中にある項目名の中から適切なものを引用して書くこと。
条件2 ② は、回答者の割合がどのように変化しているのかが分かるように、簡潔に書くこと。

(一) 山田さんは自分の考えを分かりやすく伝えるために、【新聞の投書の下書き】の①、②の部分について、【資料】の内容を踏まえて書くことにしました。あなたなら、どのように書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。4)

(文化庁「平成三十年度『国語に関する世論調査』の結果の概要」による。)



【資料】

読書のすすめ

最近、読書をする人がますます減ったという声を聞きます。「平成三十年度『国語に関する世論調査』の結果の概要」(文化庁)によると、平成十四年度から四回の調査で、「読書をするものの良いところ」について、①と回答した人の割合が、連続して②とが分かります。今はインターネットで様々な映画やドラマなどを見ることができるようになり、以前に比べて感動を味わう機会が多様になっているのかもしれませんが。

先日、私は話題の映画をインターネット配信で見ました。とても面白かった

ので、原作の本にも興味がわき、読みたいことにしました。すると、途中から、映画とは違った展開に心を奪われ、結末まで一気に読み進み、映画とは違った感動を得ることができました。この出来事は私に、読書をするものの意味について、改めて考えるきっかけをくれました。

みなさんも読書をしてください。

【新聞の投書の下書き】

中学校三年生の山田さんは、新聞の投書を書いています。次は、山田さんが書いた【新聞の投書の下書き】と、山田さんが集めた【資料】です。これらを読んで、あとの問題に答えなさい。